

第 35 回 Pitch to the Minister 懇談会“HIRAI Pitch” 議事概要

1. 開催日時・出席者等

- 日時:平成 31 年 4 月 2 日(火)11:00~12:00
- 場所:中央合同庁舎 8 号館 10 階 平井国務大臣室
- Pitch テーマ:①「デザイン」の持つ力で世界を元気に!
②「イノベーションを生む組織文化」
- 招へい者:①小宮大地 株式会社ビビビット代表取締役
②富田侑希 株式会社 dot 代表
- 出席者:平井国務大臣、幸田内閣府審議官、住田知財事務局長、川嶋知財事務局次長、行松審議官(宇宙)、三輪 CIO(政府)、柴崎参事官(IT)、石井企画官(科技)、高本企画官(知財)、吉弘企画官(知財)、寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官

2. 小宮 株式会社ビビビット代表取締役からの説明

- 株式会社ビビビットは株式会社セプテーニ・ホールディングスの社内ベンチャーとして 2012 年にスタート。デザイナー・クリエイターの求職者(デザイン系の学生が多数を占める)とクリエイティブ人材を求める企業とを結びつける就職支援を実施。
- 日本においては、デザイン経営やデザイン思考の理解が進んでおらず、デザインを経営に取り入れていない企業が多く、特に中小企業においては困難であるが、最近では、国がデザイン経営「宣言」(経済産業省・特許庁)や「経営デザインシート」(内閣府)を出したこともあり、企業に説明がしやすくなってきた。
- デザイン経営・デザイン思考に関する意識調査によると、導入している企業は全体の 15% 未満、導入による経済効果があった企業は7割以上、100 人未満の企業での 7~8 割はデザイナー・クリエイターが不在との結果であり、デザイナー・クリエイターの企業への人材投入はまだ余白があると考えている。また、デザインに投資することによる経済効果は海外の調査により確認されており、我が国においてもデザイン経営・デザイン思考を取り入れることにより、経営力が上がり、国力も上がると考えている。

3. 富田 株式会社 dot 代表からの説明

- 株式会社 dot は、2016 年学習院大学特別客員教授着任齋藤徹氏の講義を受けたことをきっかけとして学習院大学学生が集まってスタートしたチームであり、自分(富田氏)を代表として 2017 年株式会社化。チーム dot において、一人ではできないことをチームで取り組んで、新しい価値を生み出すような土壌がある。特徴としては、①ペイフォワード、②心理的に安心な場づくり、③競争に共創を組み合わせる、④「しなくちゃ」を「したい」に変えるということ。チーム内

では共通の価値観があり、100 人を超えるメンバー一人一人が内発的動機でプロジェクトを実施。

- 「Z 世代会議」として、Z 世代(1996 年以降に生まれたソーシャルネイティブであり、新しい価値観を持つ世代)と企業との共創により、企業の課題解決をサポート。また、一般的な就職活動に疑問を持った富田代表発案の企画である「Z-1 チャレンジ」において、企業と学生が課題解決のワークショップ等を通じて素の自分のまま話せる機会づくりにより就職活動をサポート。

4. 主な質疑応答・議論

- デザイン経営、デザイン思考を端的に表現すると、「モノづくりではなく、コトづくり」であると考えている。
- デザイン系の学生の就職希望者は増えてきているが、就職先探しが難しい。企業側でのデザイン経営、デザイン思考のニーズは増えてきており、総合職も含めて、マッチングを行っている。デザインの経済価値は、広義のデザインについては指標がなく、今後の課題と考えている。
- チーム dot の取り組みは、リーダーが弱みを見せたり、競争する場合でも共創によりそのプロセスを楽しむなど、日本らしい起業の形である。

(了)

(速報のため事後修正の可能性あり)